

## 消毒薬と使用法について

農場への病気の侵入を防ぐため、また農場から病気を持ち出さないため、畜舎や長靴、または車両を消毒する必要があります。消毒薬を正しく使用し、その効果を最大限に発揮できるようにしましょう！

種類	細菌		真菌	ウイルス※		コクシジウム	使用対象		
	一般細菌 (大腸菌、サルモネラ等)	芽胞菌 (クロストリジウム等)		膜有	膜無		畜舎	踏込槽	車両
逆性石鹼 パコマ、アストップ、クリアキル等	○		△	○			○	○	○
塩素系 ※※ ピルコンS、クレンテ等	○	△	○	○	○		○	○	
ヨード系 ※※ バイオソッド、クレンアップ等	○	△	○	○	○		○	○	
アルデヒド系 グルタクリン等	○	△	○	○	○		○	○	○
オルソ剤 タナベール、トライキル等	○		○	○		○	○		
消石灰	○		○	○			○	○	○ (タイヤ)
消毒用エタノール	○		○	○					○ (車内)

○:効果あり △:効果弱

※ 膜有: インフルエンザ、豚熱、コロナウイルス等  
膜無: 口蹄疫、ロタウイルス等

※※ 腐食性あり

### 効果的な消毒のポイント

(1)長靴の汚れを落としてから消毒

踏込み消毒槽に入る前に長靴をよく洗っておきましょう。泥や糞が付着していると消毒効果が低下します。

(2)正しい消毒薬を選びましょう

金属腐食性のある消毒薬があるので、使用する場合は注意しましょう。また、目的とする病原体に効果があるか調べて使用しましょう。

(3)消毒薬は定期的に交換しましょう

消毒薬が汚れると、消毒効果が低下するので、汚れたら交換しましょう。また、冬季は低温により消毒効果が低下するので、夏場より高めの濃度で作成しましょう。

(4)用法・用量を守りましょう

効果をより良くするために、正しい濃度で使用しましょう。